

MECHATROLINK News は、協会から会員の方へMECHATROLINKに関する最新情報をお伝えします。

### SEMICON Japan2008 出展案内

MECHATROLINK協会は、2008年12月3日(水)～5日(金)に幕張メッセにて開催される『SEMICON Japan 2008』に出展します。今回は、更に高性能・高性能になったMECHATROLINK-Ⅲのデモ機をメインに展示を行います。また、昨年の展示会でも好評を頂いた壁一面のMECHATROLINK-Ⅱ 各社製品の接続性デモ展示をリニューアルし、より多くの製品がご覧頂ける様になりました。メンバ各社のMECHATROLINK対応製品のテーブル展示も行いますので、実機を確認しながら詳しい説明を受ける事も可能です。多くの皆さまのご来場をお待ちしております！

開催日：2008年12月3日(水)～5日(金)  
開催時間：10:00～17:00  
場所：幕張メッセ  
協会ブース番号：6C-612



また、SEMICON Japan 期間中にMMA会員にご入会いただくと、抽選でプレイステーション3が当たるキャンペーンを行います。是非、このチャンスにご入会下さい！！

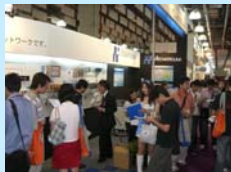


### SEMICON Taiwan2008 出展報告(台湾)

2008年9月9日(火)～11日(木)に台湾・台北世界貿易センターにて開催された「SEMICON Taiwan 2008」に初出展しました。MECHATROLINK-Ⅱ 各社接続性デモ展示、リニアとDDを使用したガントリー機構の動作デモ及び、MECHATROLINK-Ⅲのサンプル製品展示を行いました。今後、台湾地区の半導体・液晶の製造装置に広く使用されることが期待されます。

出展にご参加いただいたMMAメンバ様は、以下の通りです。

INNOSERV様、(株)アイエイアイ様、オムロン(株)様、オリエンタルモーター(株)様、(株)デジタル様、マイコム(株)様、(株)安川電機様、横河電機(株)様、理化工業(株)様



ブース風景



ガントリーリニアステージのデモ

### Motion Control Show2008 出展報告(韓国)

2008年10月8日(水)～10日(金)に、韓国のソウルで開催された、「Motion Control Show2008」に出展しました。MECHATROLINK-Ⅲのデモ展示をメインに、MECHATROLINK-Ⅱ 対応の各社製品を展示しました。

MECHATROLINKⅢデモでは、通信高速化によって懸念される通信の信頼性や、途中介入機能によるシステムの便利性、それに伴うシステムの安定性についてMECHATROLINK システムの優位性に重点を置き、PRしました。

3日間を通じて、展示会場に約1万名の来場があり、Open Network MECHATROLINKを多くの方に知っていただくことができました。

結果、展示会期間中に15社の新規メンバ入会がありました。また、MECHATROLINK-Ⅲについて、多くの関心を抱いていただき、今後ますますの発展が期待されます。

出展にご参加いただいたMMAメンバ様は、以下の通りです。

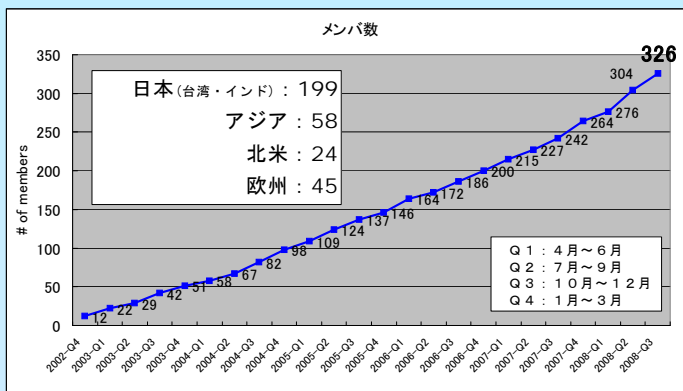
MYCOM Korea様、YASKAWA ELECTRIC KOREA様、LSIS様、CONVEX様、Soft Servo Systems様、YOKOGAWA ELECTRIC様、OMRON様、HANMI SEMICONDUCTOR様、ORIENTAL MOTOR様、RKC INSTRUMENT様、



ブース風景

### MECHATROLINK協会会員数推移

287社(2008年8月) ⇒ 326社(2008年11月) 39社増加！



## 支部レポート 第2回【アメリカ支部編】

### ～MMA-USの活動状況とアメリカ市場のトピックス～

最近のトピックスとしては、National Instruments社の LabVIEW用 MECHATROLINK IIデバイスドライバと、Phoenix Contact社の MECHATROLINK II バスカップラとスライス I/Oが上げられます。

MMA-USでは、全米23箇所で開催されるNational Instruments (NI)の技術セミナーをサポートしています。Windows XP 及び Vista においてNI社LabVIEWと、安川電機 ΣVサーボアンプのプラグアンドプレイによるデモンストレーションを行っています。Phoenix Contact社の MECHATROLINK II バスカップラとスライスI/Oについては、多くのお客様で採用されており、他のネットワーク例えば Modbus RTUなどよりも多くの台数が出ています。

MECHATROLINKの推進については、今後のさらなる拡大が予想されています。特に、米国安川電機の新コントローラMP2300SiecとPhoenix Contact社バスカップラの組み合わせが非常に期待されています。

まとめとして、MECHATROLINK-II 製品は米国地区において徐々に一般化されており、装置メーカーやエンドユーザの機器に多く使われ始めています。今後の展開がますます期待されます。



Andy Urda:

MMA-USの活動運営及び、マーケット戦略担当。

Derek Lee:

MMA-USIにおける様々な技術的サポート活動。

## MECHATROLINK新製品紹介

協会会員様のMECHATROLINK対応新製品を紹介します。

### ㈱アイエイアイ

#### ロボシリンダ用コントローラ ACON/PCONシリーズ

形式: ACON-C/CG-□-ML-0-0(□: モータW数)

PCON-C/CG-□-ML-0-0(□: モータサイズ)



ACONシリーズ



PCONシリーズ

#### 特長:

・スライダタイプ、ロッドタイプ、ロータリータイプ、グリッパタイプなど、豊富な電動アクチュエータ製品を上位のPLCからI/O操作で簡単動作。

・ポジションデータの作成は、PCソフトやティーチングペンダントからの数値入力、またはダイレクトティーチングで簡単に設定可能。

・移動する位置を直接数値で指定して動作することや、現在位置、速度、電流指令値のモニタリングが可能。

#### お問い合わせ先:

株式会社アイエイアイ 営業企画課

E-mail : info@iai-robot.co.jp

### ㈱キーエンス

#### 位置決め・モーションユニット

形式: KV-ML16V

#### 特長:

・超高速PLC「KV-5000/3000」の高速性を活かしたシステム構築が可能です。コントローラの自律制御ができ、モーションフローや専用命令によりプログラム量が減ることでCPUのスキャンタイムが向上します。



KV-ML16V

・従来の位置決めユニットと同等の価格でモーション制御に対応しているので導入時の大幅なコストダウンを実現。また、最大16軸の制御に対応でき、多軸制御のコストダウンが図れます。

・位置決め、同期などすべての制御をパラメータ方式で実現。専用言語不要なので、簡単に導入していただけます。また、ユニットの初期設定など、必要なソフトウェアはラダーサポートソフトKV STUDIOに標準搭載の「KV MOTION+」にすべて収録しています。

#### お問い合わせ先:

株式会社 キーエンス 本社・研究所/AC事業部

〒533-8555 大阪市東淀川区東中島1-3-14

Tel:06-6379-1271 Fax:06-6379-1270

## 新規MECHATROLINK協会会員

日特エンジニアリング(株)・㈱アパールデータ・㈱コーネット・盈兆力企業有限公司・亞旭聯合科技有限公司・微鋒自動科技股份有限公司・Utron Technologies Corp.・均豪精密工業股份有限公司・SHANGHAI SUN-WA TECHNOLOGY CO., LTD.・萩原電気(株)・日本電計(株)・本多通信工業(株)・A-KYUNG MOTION INC.・AJINEXTEK・GYU BO SYSTEM・SECUROBOT・LS Industrial Systems Co.,Ltd.・SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.・CS Electronics Co., LTD.・YOUHO ELECTRIC IND. CO., LTD.・BEST F.A.・Shinwha Elecom Co., Ltd

(※公開可の会員のみ記載)

## 今後のスケジュール

12月 SEMICON Japan2008(幕張): 12月3日～5日

2月 MECHATROLINKフェア(熊本): 2月2日

2月 MECHATROLINKフェア(広島): 2月4日

2月 MECHATROLINKフェア(京都): 2月6日

2月 MECHATROLINKセミナー(福岡): 後報

#### お問い合わせ先

MECHATROLINK協会へのご入会、その他のお問い合わせは、下記MECHATROLINK協会へお願いします。

発行 平成20年11月19日

発行所 MECHATROLINK協会

〒358-8555 埼玉県入間市上藤沢480番地

TEL (04)2962-7920 FAX (04)2962-5913

e-mail : mma@mechatrolink.org

URL : http://www.mechatrolink.org/

編集責任者 MECHATROLINK協会 事務局代表 田中 毅